

日本初の実用形彫放電加工機

登録番号	第 00373 号		
登録年月日	2024（令和6）年9月10日	登録区分	第一種 (大量生産品等同様のものが複数あるもの)

名 称 (型式等)	形彫放電加工機 Japaxtron D3		
所 在 地	埼玉県宮代町		
	日本工業大学 工業技術博物館		
所 有 者 (管理者)	日本工業大学 工業技術博物館		
製 作 者 (社)	株式会社日本放電加工研究所（現 株式会社ソディック）		
製 作 年	1954年		
初 出 年	1954年		
選定理由	放電現象を利用し非接触で金属の加工を行う放電加工機は、硬度や靱性が高い難削材や微細、狭隘形状の加工を得意とし、日本では金型の加工などに使用されて日本の物づくりを支えてきた。日本でも1948年頃に東京大学などで研究が開始された。その中で本資料は1954年3月に日本放電加工研究所（現(株)ソディック）が欧米とは異なる独自発想に基づいて開発し、東京工業大学に納品した1号機である。日本の形彫放電加工機の歴史を開いた実用放電加工機として重要である。		
登録基準	一ーイ （科学技術の発展の重要な側面及び段階を示すもの） 一ーロ （国際的に見て日本の科学技術発展の独自性を示すもの）		

公開・非公開	公開		
写 真			
その他参考となるべき事項			